

「子供が学ぶ」 My 授業づくり シート

～拡散と収束のある学び 須田小学校 成田 伸子

◆「子供が学ぶ姿」

子供の「よく分からない」を「はっきりさせたい」に高まることで、子供は、友達の考えを付け加えたり、新たな考えを思い付いたりすることで、考えをより深めていきます。

算数学習編

◆教師の役割～日常的な4つの役割

次の4つのことを中心に、授業づくりに取り組んでいます。

- ① 授業で考えること（学習課題）のしかけ
- ② 子供から様々な考えを引き出すしかけ
- ③ 様々な考えを整理するしかけ
- ④ 自分の学びをまとめるしかけ

学習課題のしかけ ?を感じる

◆子供が、学習のめあてをもつ

- ① 「わからない」を受け止める
- ② 「何が分かったら解けそうか」未知を問う
- ③ 解くのに使えるような既知を引き出す
- ④ 振り返りが可能な（具体的な）内容にする

拡散のしかけ

◆子供から、様々な考えを引き出す グループ対話

- ① 自分の考えを友達と伝え合う場を作る
考え方を視覚化
- ② 自分たちの考えを、図、式、言葉等で視覚的に関係付けさせる場を作る（ホワイトボード）
思考の掘り起こしスキル
- ③ 対話スキル（理由・例示・一般化や、仮定（もし～）を問うことで、子供たちの考えの不足・不明の部分等をはっきりさせる

収束のしかけ

◆子供の考えを、整理する視点を示す 変化問題

- ① 新しいこと（数を変える等）を加えた問題でも、今までの考え方で解けるか聞く
ネーミング
- ② グループの考え（ホワイトボード）を〇〇方式などの短い言葉に置き換えさせる
は・か・せ
- ③ それぞれの発表内容を、「速い・簡単・正確」の3点から検討し、よりよい方法を選ぶ

まとめのしかけ 型でまとめる

◆子供が、学習課題についてまとめる

- ① 学習の振り返りの書き出しの言葉を示す
- ② 類似の問題を解く

「2つの数の間の関係

■今日の学習課題のしかけ

◎列に「ならば」か「あきらめる」か
家族に説明しよう（※④）

② 絵で問う



③ 考えの中から「1人あたりの〇〇」の考え方が使えることを朱書き板書する。

■今日の拡散のしかけ

- ① 一人で考えた後、3～4人グループで話し合う
- ② 「複眼思考」（複数の解き方・複数の理由や例示）をそのまま整理する
- ③ 学習課題「～説明しよう」とつなげ、不足しているところを聞く。確認キーワード「1つあたりの時間」を使って計算する

■今日の収束のしかけ

- ① 「レジの店員さんの人数が変わり…」と新しいことを加えても、今までのやり方は使って、並ぶか諦めるか決められる？
前のレジ：4分間/1ポール
今のレジ：3分間/1ポール

※「1つあたりの時間は前と変わるが、解き方は変わらないことを確認する

③ 算数の学習で大切な考え方「速い・簡単・正確」から、今日のよりよい解き方を選ぼう

■今日のまとめのしかけ

- ① 「問題が変わっても、一つあたりの時間の考えを使って、2つの数の間で変わらない関係を見つけだせば解くことができる。例えば、～」

【導入】日常につなげる…計算結果で終わらない、その先の判断を求める
◎列に並ぶかあきらめるか(説明しよう)



【拡散】グループで交流 ※発表する
(複眼思考で認め、1あたりの考えで繋ぐ)



【収束】グループでの検討
(前の解決方法を使って解けるだろうか)

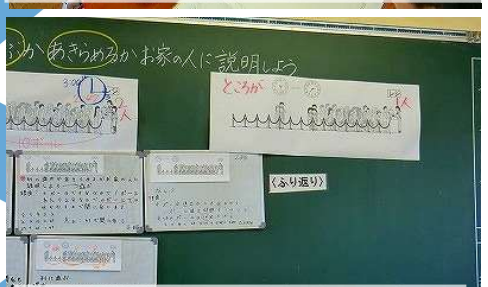


【まとめ】説明して学習を振り返る
自分の考えを納得してもらおう説明をする

・ポールが4つ分進むのに、8分かかかるから、
1つ分2分で計算する（わり算方式）
▼4つ分がいくつあるかでもできそう…ポールが14だから、はんばが出るよ。

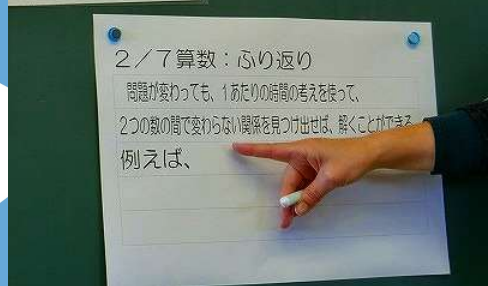


【拡散】個でグループで考える ※机間指導
(1ポールでかかる時間に着目しているか)



【収束】新しい問題で活用力を試す
学んだことが、新しい問題でも使えるか？

く振り返り



【まとめ】2つの問題の背景にある考え方
(1つ当たりにかかる時間を基に整理する)
※先生あのね方式で、書き出しの文に続けてまとめる

1あたりの時間を使って、2つの数の間で変わらない関係を見付けて出せば、解くことができる。例えば、～